

## 学 位 論 文 審 査 の 要 旨

学位申請者	<p style="text-align: center;">渡辺 友美</p> <p style="text-align: center;">【ライフサイエンス専攻 平成27年度生】</p>	要 旨
論 文 題 目	水環境・水生生物の展示開発に関する研究 ―映像を用いた展示を中心に―	<p>我が国は、海洋基本法（2007 年7 月施行）及び海洋基本計画（2013年4 月閣議決定）に基づいて海洋教育を推進しており、海洋立国の将来を担う人材の育成を目指している。海洋教育では、水族館や博物館等における展示が果たす役割は大きく、映像展示の充実には、学芸員等自らが動画を記録し、得られた動画を展示として表すための映像化の技術が求められている。そこで本研究では、水環境の生態学的特性を伝える手法として、映像を用いた展示作成上の留意点を整理した。すなわち、撮影の留意点としては、視点場の設定・画角の設定・水環境の指標の記録が重要であり、編集の留意点では、シナリオに沿った情報の付加や整理等の必要があることが示された。加えて、展示内容についての利用者の理解は、展示空間での映写方法に大きく依存するので、撮影・編集の計画に先だって視聴機器のデザインを検討することが大切であることも示された。さらに、インタラクティブ性をもつ映像手法は、観覧者のポジティブな感情を維持させることも明らかにした。また、映像ツールや映像デザインに関しても、評価方法を開発し、その効果を測定した。これらの知見や手法を活用し、海洋教育推進のための移動ミュージアム「海のめぐみをいただきます！展」を開発し、実際に小学校・中学校等で展示し、児童生徒に対して海への意識を強く与えることを確認した。</p> <p>改善された論文は、審査委員の指摘に対して的確に対応したものであった。公開発表の質疑応答においても、申請者の応答は適切であり、本研究を主体的に展開してきたと認められた。さらにこれらの成果の一部は、査読付きの学術誌（応用生態工学）に掲載された。</p> <p>以上の結果から、本審査委員会は、申請者渡辺友美氏が最終試験に合格し、本研究科の学位、博士（学術）、Ph. D. in Science Outreachに値するものと判断した。</p>
審 査 委 員	(主査) 教授 千葉 和義	
	准教授 清本 正人	
	教授 服田 昌之	
	准教授 畠田 智	
	准教授 元岡 展久	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（ 可 ・ <b>否</b> ）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <div style="border-left: 2px solid black; border-right: 2px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p><b>ア</b> 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p><b>イ</b> 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p><b>ウ</b> 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p><b>エ</b> 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p><b>オ</b> 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> </div> <p>※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	